

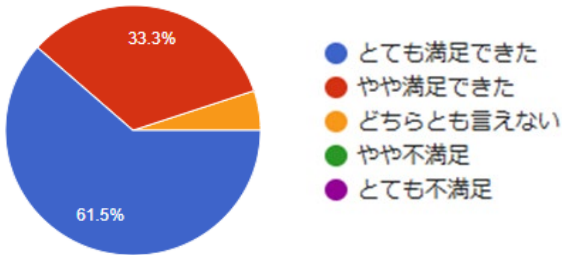
R6年度保土ヶ谷区多職種連携会議全体会アンケート集計結果 2024.10. 23

参加者142名 回答者39名 (回答率34%)

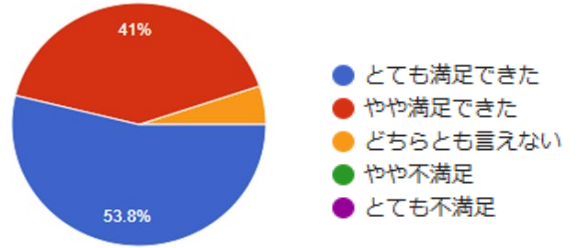
参加者

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	1	歯科医師	10	薬剤師	11	行政	9
病院看護師	7	訪問看護師	10	リハビリ職	8	ケアマネ	29
包括職員	15	包括以外のCP	1	介護福祉士	15	施設介護員	3
その他	23	合計	142				

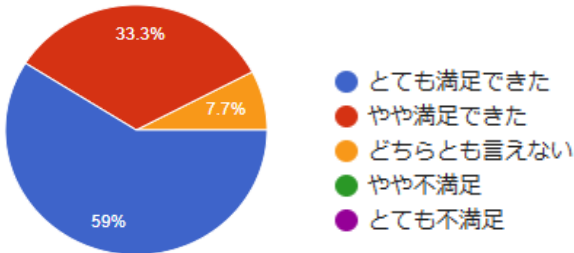
問1 【講話】能登半島地震災害派遣報告、保土ヶ谷区の震災時リスクと非難行動、情報発信についてはいかがでしたか。



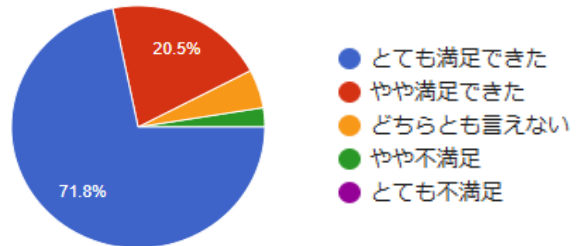
問2 【講話】保土ヶ谷区の福祉避難所についてはいかがでしたか。



問3 【講話】災害情報とかがもネットの活用については以下加賀でしたか。



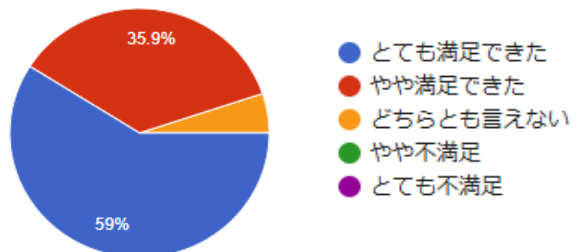
問4 【グループワーク】に災害時に多職種でできることを考えようはいかがでしたか。



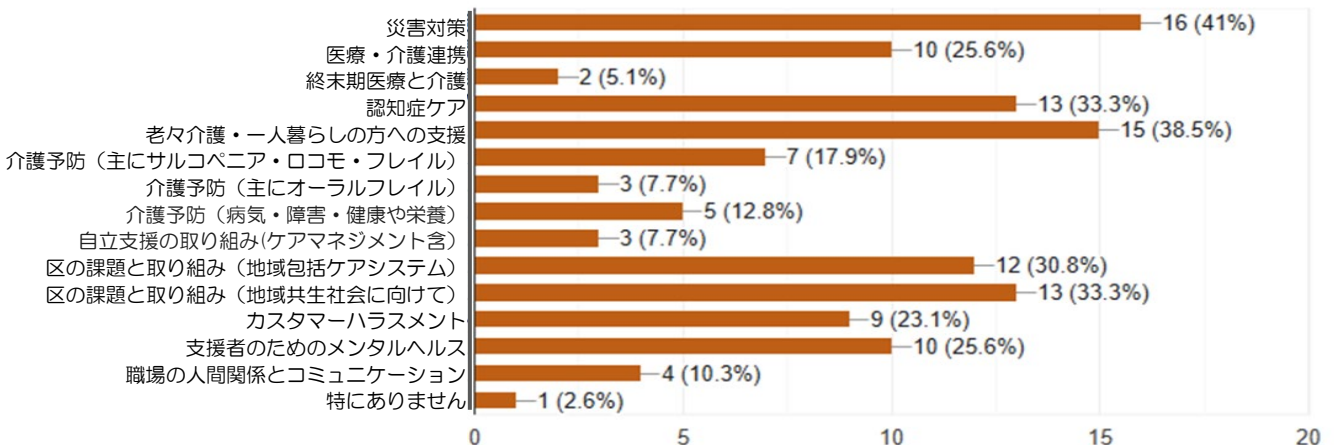
問5 【グループワーク】の感想をお願いします。

(回答は別紙参照)

問6 本日の会の総合的な満足度はいかがですか。



問7 今後の多職種連携会議全体会で取り上げて欲しい内容やカテゴリを選択してください。



問5【グループワーク】についての感想をお聞かせください。

- ・ 介護度が低く、医療依存度がない方のほうが支援が行き届かず安否確認も後回しになってしまうなどを再確認し事業所のBCPも独居プラスアルファを付け加えないとならないと感じました。
- ・ 時間が足りなかった気がします、それぞれの思いが聞けて勉強になりました。（類似4件）
- ・ 参加してなければ聞けなかった情報が得られた。
- ・ 普段関わることのない職種の方と話すことができ勉強になった。
- ・ グループワークの時は夢中でしたが、振り返るとテーマは以下だったのかなと思いました。①災害時の情報の集約と縦の指示命令系統について②普段からの職種同士・職種を超えた横の繋がり、連絡会などの情報共有について各職種が、何を大事にしているのかを知る事が出来ました。ただ、多職種で連携するところまで、話が出来なかったのが残念でした。
- ・ 事業所間での災害時の協力体制を整えるためにも、普段からMCSを活用した連携が活発に行えると良いと感じた。
- ・ 今回で終了ならば机上論でしかないと思う。定期的集まり、話し合うことで、本当の備えになるのではないかと思う。
- ・ 全体的にテーマの解釈が広くてかけ足での話し合いだったのでもう少し時間が欲しかった。ただ、他職種や他のサービス形態の視点に触れられて学びになった。
- ・ それぞれが自分のかかわっている方を連想しながら、テーマ①②について意見を出し合ったが、大変盛り上がり時間が足りなかった。次回以降、GWテーマはひとつに絞っても良いのではないか、という意見も出た。
- ・ 各職種の方々に対応が可能な事の把握や連絡手段の確認の。必要性を改めて感じました。
- ・ 今まで考えたことのないことが多くビックリした。
- ・ 多職種ならではの視点と意見が聞けました。保土ヶ谷区に来て間もなかったので新しい方と挨拶出来て良い機会でした。
- ・ 職種ごとに情報の認識の違いが多くある事に驚きました。お互いが当然と思っている事が全く知らない事で、情報共有の重要性を実感しました。
- ・ 連絡手段があっても、どこに連絡すべきか、事前に利用者さんと相談することの必要性も理解しました。
- ・ 他の職種の意見を伺うことで、自分ができることや求められていることが何か分かりました。（類似5件）

問8 全体会を通してご意見・ご感想・今後へのご要望などございましたらご記入ください

- ・ 他のグループではどんな話し合いがあったのか共有の時間があるととっても学びになったと思います。
- ・ 視点の違う指摘は、大変勉強になりました。
- ・ 災害のようなテーマは定期的に連続して話し合う場を設けていく必要があると思う。
- ・ 毎年楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・ 板倉係長と浅井先生の声が聴き取りづらい部分があり、勿体ないと思いました。
- ・ ファシリテーターとして、様々な発見があり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。